

これだけは知っておきたい

エコキープワード 17

●国連グローバル・コンパクトの10原則

人権	原則 1	企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
	原則 2	自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働基準	原則 3	企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
	原則 4	あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
	原則 5	児童労働の実効的な廃止を支持し、
	原則 6	雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	原則 7	企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
	原則 8	環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
	原則 9	環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	原則 10	企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

アナン元国連事務総長が提唱した

©UN Photo/Sergey Bermev



潘基文国連事務総長も支持を表明

©UN Photo/Eskinder Debebe

世界で8000の企業や団体が支持を表明する「10の原則」
国連グローバル・コンパクト

●2015年までに達成を目指すミレニアム開発目標8項目

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
1日1ドル未満生活者、飢餓者の人口比率の半減
2. 普遍的初等教育の達成
すべての子供の初等教育課程修了
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
すべての教育レベルで男女格差解消
4. 幼児死亡率の低減
幼児死亡率を3分の2に減少
5. 妊産婦の健康の改善
妊産婦の死亡率を4分の3に減少
6. HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7. 環境の持続可能性の確保
安全な飲料水と基礎的衛生施設を利用できない人の割合の半減など
8. 開発のためのグローバル・パートナーシップ推進
開発途上国において、安価で必須医薬品を入手・利用できるようにするなど



日本国内でもさまざまなセミナーが開かれている。連絡先：グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク ☎03・5412・7235

この10原則を企業や団体トップ自らが組織の経営理念に取り入れ、その実現に向けて協力すると署名するのが参加の条件だ。いわば世界に向けた「意思表明」であり、グローバル企業としては認知されるには、所持しておかなくてはいけないパスポートともいえる。

現在、世界で約6000の企業、1600のNGO、400の大学、40の都市が参加し、それぞれに可能な形でミレニアム開発目標達成に向けた活動も進めている。日本では、01年にキックオフマンが参加したのみだったが、その後、CSR理念が広く浸透するとともに署名する企業も増え、現在当社が日本での活動組織であるグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークに参加している。

1999年に開催されたダボス会議で、当時のアナン国連事務総長は、富の不平等が深刻化し、それに起因する紛争や貧困が拡大する現状を憂え、「企業経営者はリーダーシップを発揮し、世界の課題解決に力を貸してほしい」と訴えた。この呼びかけに応え、翌年、人権、労働基準、環境、腐敗防止の4分野で目指すべき10項目の「原則」を掲げた「国連グローバル・コンパクト」(コンパクトは「盟約」の意)が創設された。国連ではこの年、2015年までに達成すべき8つの目標を掲げた「ミレニアム開発目標」も採択された。